

【 投 薬 】

231 胃癌に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）【内服薬】の算定について

《令和6年7月31日》

○ 取扱い

胃癌に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）【内服薬】の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

プロトンポンプ・インヒビター（P P I）【内服薬】の添付文書の主な効能・効果は、「胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Z o l l i n g e r－E l l i s o n 症候群」であり、胃癌の記載はない。さらに使用上の注意には「本剤の投与が胃癌による症状を隠蔽することがあるので、悪性でないことを確認のうえ使用すること」とある。

以上のことから、胃癌に対するプロトンポンプ・インヒビター（P P I）内服薬の算定は、原則として認められないと判断した。